

第1 美浜町と当社が災害時協力協定を締結 1) 内容

《災害時協力協定の内容》

1. 災害救助対応を円滑に遂行することが目的
2. 町の要請により当社は避難場所を提供する
3. 津波警報発表時は町の要請がなくても提供

協定締結を受け非常用発電機
の配備に向けて補助金を申請



9 / 6 補助金の交付が決定



避難場所となる事務棟3部屋の
整備、およびLPガス災害
バルク、発電機、炊き出し
セットの設置工事に着手

マグネデザイン



南部体育館



補完効果で地域の防災力アップ

《南部体育館》

1. 防災倉庫設置避難所9カ所のうちのひとつ
2. 古布区、矢梨区、切山区の最終避難所
3. 発電機4、組立水槽1、投光器3を配備
4. 毛布100、組み立て式簡易トイレ50も

2) 協定締結により補助金を得て非常用発電機等を整備

補助金を得てLPガス災害バルク・発電機・炊き出しセットを設置

当社が独自に配備

LPガス災害バルク(289kg型)



移動式エアコン×2台



LP発電機(100V 15A)×2台



LP炊き出しセット×1台



サーキュレータ14畳×2台
扇風機×2台



補助対象3点の経費
決定した補助金の額

2,521,800円
1,260,900円

補助金交付決定:2023年9月6日
交付者:エルピーガス振興センター

3) 協定により大部屋避難が不安な方に事務棟の3部屋を提供



旧コンピューター室



会議室 1



会議室 2 と 3 (写真は 3)

南部体育館は多数の人を収容できる



ただし、大勢の避難者との長期の同居を不安に思う避難者もいる



マグネデザインが提供する3部屋を有効に利用していただく



ダンボールベッド



ダンボール間仕切り

最寄りの出入り口
をバリアフリー化



9/13地元区長らを招いて説明会を開催

第2 マグネデザイン(株)の紹介 1) 概要

【経営理念】

20世紀はElectronicsの時代、21世紀はMagneticsの時代



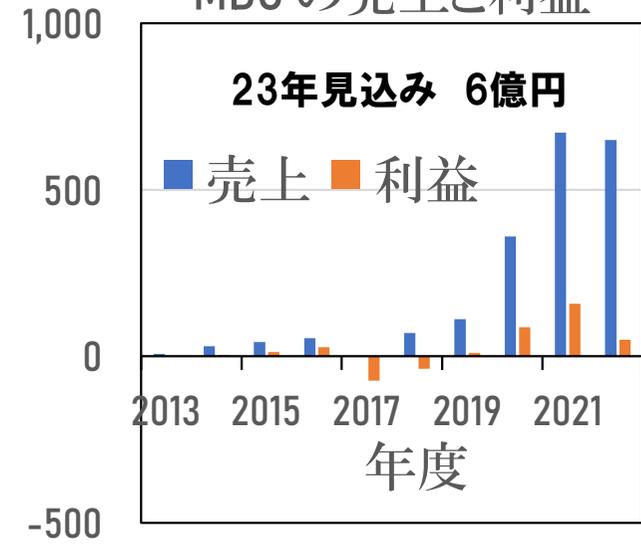
マグネデザイン美浜研究所



【沿革】

- 12年 本蔵がMDCを設立
- 15年 磁気センサの**GSR原理**を発見→NHK報道で紹介
- 16年 名古屋市のナビ白金施設に移転（クリンルームを建設）
- 20年 GSRセンサ商品開発、サンプルをJAXAに販売
- 22年 **美浜町に研究所**を設立
- 23年 医療用GSRセンサ事業に着手

MDC の売上と利益

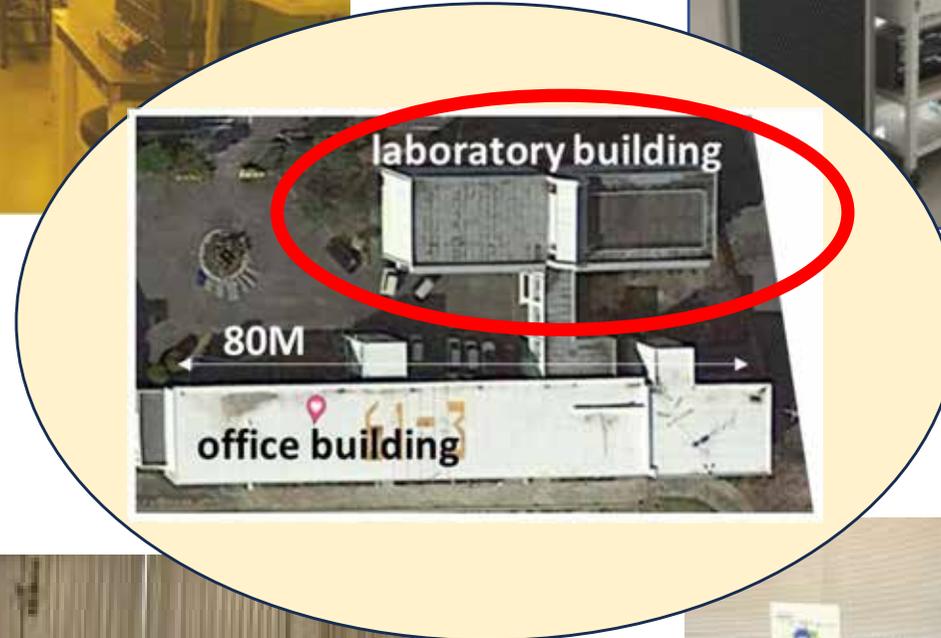


マグネデザイン(株)の紹介 2) 美浜研究所 実験室

実験室 1 : クリーンルーム



実験室2 : 新素材研究



実験室3 : センサ開発



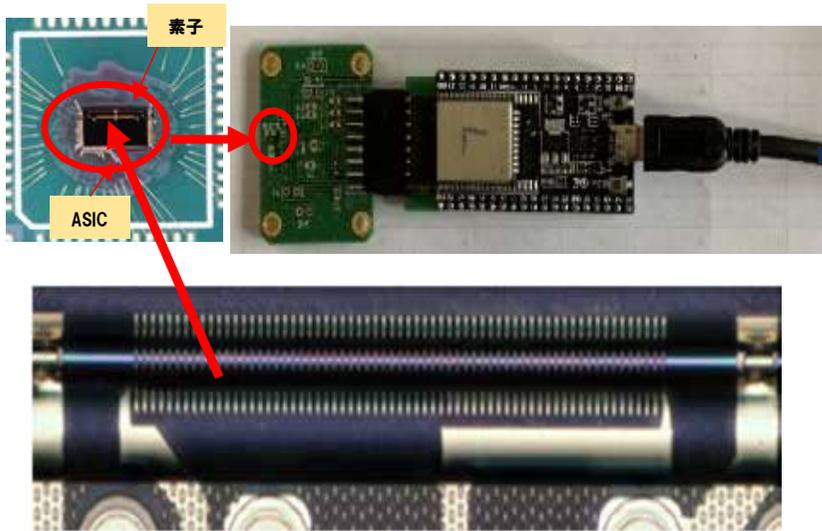
実験室4 : デンタル磁石開発



デンタル磁石の自動生産ライン⁵

マグネデザイン(株)の紹介 3) 製品の紹介

GSRセンサ 検出力: 1nT→0.1nT + 小型: 50mm→2mm



計測器



GSRセンサの応用

カテーテル手術ロボット



インプラント手術ロボット



自動車やロボットの制御



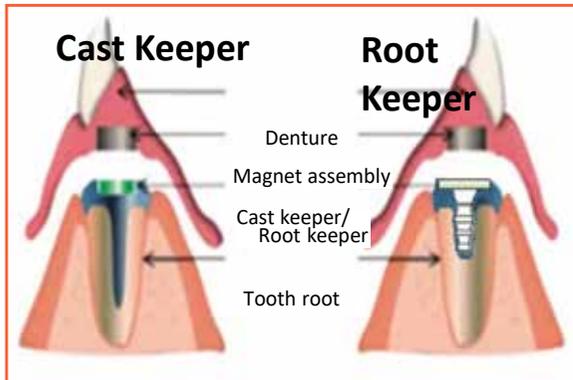
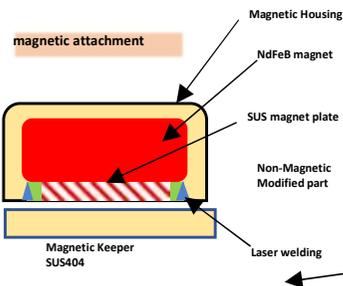
- 40 pieces per unit
- angle sensor
- rotation speed sensor
- positioning sensor

VRデバイスの入力装置



デンタル磁石

MagTeeth 700/900



第3 マグネ半島構想 1) 空港からのアクセスと道路の整備

マグネ半島構想の実現シナリオ Magnetics研究所 7大キャンパス拠点



鉄道と道路の整備

- ① 内海と河和を結ぶ環状鉄道
- ② 上野間と常滑を結ぶ 空港線
- ③ 名古屋直行便は半田線と常滑線
- ①～⑦の7キャンパスは、
高速道路で15分以内につながる

① 2023年4月: 南部キャンパスの開所式

- ・3社ベンチャー入居予定
- ・デンタル事業の立ち上げ

② 2025年9月 第2キャンパスの開所式

- ・23年6月: 南知多町へも学校跡地譲渡申し入れ
- ・デンタル事業の拠点

③ 2028年1月 5キャンパスの開所式

- ・モータ事業
- ・medical事業
- ・ロボット事業
- ・mRAM事業
- ・Magnetics先端研究所

④ 大学連携

- ・日本福祉大 福祉ロボット工学科
- ・名大・名工大との技術連携

⑤ 国際会議の開催

Magnetics 技術者10万人のネットワーク構築

道路整備 拠点を結ぶ交通網整備

15分以内 半島内道路を利用

緊急整備 ①～②をつなぐ道路の拡張 7億円

2) 「マグネ半島構想」

地元への貢献



産業道路兼観光道路整備

①魚太郎②新池③つくだ煮街道④岩屋寺⑤内海ホテル群

道路拡幅と古布IC完全化
7億円で可能 県に要望へ



②「美浜の摩周湖」新池



③ つくだ煮街道



④ 真言宗の岩屋寺

地域への経済貢献

1. 地元業者への発注
→1億円超
2. 地元採用&社員移住
→9人、町民税増
3. 本社移転
→固定資産税190万円
4. 人の出入りの波及効果
→開所式以降300人
5. 英会話教室設置予定
→国際対応人材育成



5月25日にスペインの物理学の権威バスケット教授が来社